（１）参加者全員の健康チェックに関する指針

新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針（Version 6）に則り、参加

者全員が「7日前からの健康チェック」を実施する。

今大会では選手・引率者PCR全件検査は実施しない。ただし各所属において発熱者などが発生した場合は、速やかにPCR検査を実施すること。なお全参加者（選手・指導者・主務）が陽性または濃厚接触（疑い（発熱の症状等）を含む）となった場合、試合当日を起算日として以下の対応を検討・実施する。

①試合当日～2日前までに発熱者（PCR等の検査結果が提出できない）が1名でもいた

　場合、当該チームの指導者は出場辞退を検討する。また当連盟の指針として、出場停

　止を勧告する場合がある。

②試合3日前～1週間前（健康チェック開始日）までに1名の発熱者、あるいは陽性者ま

たは濃厚接触者がいた場合、試合登録者全員は速やかにPCR検査または抗原検査等を

実施する。その結果、陽性の場合は当該選手を変更または欠場とする。複数名の場合

（検査以降に継続して増加した場合を含める）は、当該チームの指導者は出場辞退を

検討する。また当連盟の指針として、出場停止を勧告する場合がある。

③上記以前の発熱・陽性または濃厚接触については、全柔連指針に則り対応すること。

④上記に関わらず、練習環境においてはゾーニングを徹底し、寮生活を行っている大学については、その環境においても管理徹底すること。万が一陽性者等が確認され、

ゾーニング対応等が取れていない場合、当連盟の指針として出場停止を勧告する場合

がある。

　　　　⑤練習等におけるコロナ感染・濃厚接触が認められた場合、速やかに全日本柔道連盟に

所定の様式にて報告すること。なお上記①～②については、主幹大学（清和大学）に

も一報を入れること。また検査等を実施した大学については、その検査結果報告を併

せて行うこと。

※検査結果報告は、

　a)検査の種類

　b)検査者総数

　c)検査結果（陽性者数、陰性者数）

　　　　⑥各大学においては、出場予定選手が罹患した場合を想定し、所属選手全員の健康記録

　　　　　を実施し、万が一に備え選手変更がスムーズに行えるよう準備すること。

（２）試合会場の入場制限について

会場（清和大学真武殿）内への入場は各大学、指導者（2名）、主務、出場選手とす

る。

無観客での開催の為、その他の入場は認めない。

なお報告上の注意点として

a）指導者については、帯同審判員となる者は含まない。

b）男女別の場合は、指導者・主務はそれぞれ入場可能。

また全参加者はマスクを着用し、また消毒液を持参しこまめに手指の消毒を行うこと。※マスクを外せるのは試合者のみ。（各所属で周知徹底のこと）

大会当日、全参加者は必ず検温を行うこと。また各大学の指導者または主務は、所属全

参加者の体調について確認した上で、別に定める大会1週間前までの健康記録表を提出

すること。

また各所属において、全参加者が可能な限り１つのグループを形成し入館すること。入

館時は検温を行い、37.0℃以上の発熱を検知した場合は、会場内へ入ることはできな

い。観覧席については、事前に大会事務局で指定した場所以外への着席を禁止する。通

路等での立ち話や、試合終了者がアリーナ内に留まることは厳に慎むこと。